

目次

平成30年新年会のあいさつ ……P1
 ……P1
 平成30年新春の集い ……P1
 船橋記念 ……P1
 通年ナイターへ！ ……P1
 おめでとございます ……P2
 三年間無事故表彰 ……P2
 新規入会者 ……P2

千葉県馬主会

一般社団法人 千葉県馬主会
 事務局 船橋市若松1-4-7
 電話 047 (431) 7201
 FAX 047 (431) 7294
 編集・発行人 細川 大輔

昨年、船橋市は市政執行80周年の大きな区切りの年を迎え、人口も63万人を超える賑わいのある街になることができました。これまでの歴史を振り返

馬主会をはじめ、競馬場関係者の皆様には、市への社会福祉の寄付や、船橋競馬場の振興とともに、市政のために、様々な力添えをいただいていることにお礼申し上げます。



松戸 徹
船橋市長

1月19日市内東魁楼本店において、松戸徹船橋市長や佐藤正己競馬議会議長を始め、競馬関係団体の役員の皆様方をお招きして、佐藤調教師会長の乾杯のご発声にて祝宴に入り、和やかな雰囲気の中、新春の集いを結ぶことができました。

平成三十年 新春の集い

ば、この船橋競馬場が、これまで町の賑わいを創ってきたことは誰もが認めるどころです。

一時期、公営競技の経営が厳しかった時代があったわけですが、船橋競馬場の場合は、瀬山会長をはじめ皆さんが、様々なアイデアを出していただいて、昨年は、初めて分配金をいただくことができました。

ネット投票が非常に伸びている一方で来場者数は減少傾向にあると伺っています。

私が思うには、競馬場の醍醐味は足を運んでいただきその素晴らしさを味わっていただくことが一番大切だと思います。

市内に競馬場が二つある文化を大切に、船橋競馬場が、町の賑わいの中心になれるよう、アイデアを出して作っていきたい旨のご挨拶がありました。

今年、船橋市は市政執行80周年の大きな区切りの年を迎え、人口も63万人を超える賑わいのある街になることができました。これまでの歴史を振り返

今年、船橋市は市政執行80周年の大きな区切りの年を迎え、人口も63万人を超える賑わいのある街になることができました。これまでの歴史を振り返

今年、船橋市は市政執行80周年の大きな区切りの年を迎え、人口も63万人を超える賑わいのある街になることができました。これまでの歴史を振り返

今年、船橋市は市政執行80周年の大きな区切りの年を迎え、人口も63万人を超える賑わいのある街になることができました。これまでの歴史を振り返



佐藤 正己
競馬議会議長

今年、船橋市は市政執行80周年の大きな区切りの年を迎え、人口も63万人を超える賑わいのある街になることができました。これまでの歴史を振り返

平成三十年 新年会のあいさつ



馬主会会長 瀬山 孝一

今日は、当馬主会の新年会に、公私ともご多忙中にもかかわらず、松戸船橋市長をはじめ、千葉県競馬組合議会の皆様や競馬関係団

体の皆様にご多数お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

新春を迎え、皆様には心も新たに希望に満ちた年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、馬主会を含め、船橋競馬関係者にとって、平成27年6月のナイター実施とアイパット導入による、

フオロの風が吹き始め、おかげさまで、黒字化後2年は、出走手当や、賞金の復元を中心に、馬確保対策への補助事業の拡大を図っていただきました。

また、公営競馬事業の本来的目的であります行政への利益配分も昨年度実施していただきました。

追い風を受けての3年目も、大変好調であり、昨年12月の第9回開催終了まで

の総売得金も、前年比11.5%の増となっており、他の地方競馬と同じように、その勢いは止まりません。

しかしながら、これからは、総売得金の伸びより、純利益がいくら生じるかによって、施設改修費用や構成市への分配金、積み立て、基金への上積み額が決まります。

大井競馬場では、本場開催日以外でも集客できるよ



中村 博
船橋競馬場事務取締役

船橋競馬場の場長としての自己紹介をしたのが、9年前のこの会でした。

翌年の2010年、JBC開催、2011東日本大震災があり、大変な被害にあいました。私も待機馬房で寝るなど回復に時間がかかりました。2015年ハートビートナイターがスタートし、ある程度は回復しましたが、私とすれば、船橋競馬場をもっと賑やかにして、人の集まる競馬場にしたいと思います。

施設の管理者として大変な時期だったと思い起します。いかに魅力的な施設にして来場者を増やしていくか、大井競馬場では、東京大賞典で34,000人、川崎競馬場では、有馬記念の場外で27,000人が入っています。

社内体制の関係で新場長の北原が赴任しましたが、

新しい体制で、船橋競馬場を賑やかにする工夫をしていく旨の、ご挨拶がありました。

岩澤 好宏
競馬組合事務局長

船橋競馬事業も、おかげさまで、好調を堅持しております。

減少傾向だった本場入場者数も今年は、前年比20%増になっています。

大井・川崎にはまだまだ及びませんが、企画を出しながら、賑わいのある競馬場にするべく努力してまいります。

売り上げも前年比10%増で好調だった前年を上回っています。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。



岩澤 好宏
競馬組合事務局長

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

この1年、強い馬づくりをスローガンに、ファンの皆様楽しんでいただけるレースを積極的に展開していく旨のご挨拶がありました。

船橋記念

平成30年1月17日(水)に行われた第62回船橋記念(SⅢ)は、7歳騙馬アピア号(馬主宮崎時子・大井藤田厩舎・御神本騎手)が優勝し、千葉県馬主会瀬山会長から、記念の銀杯がオーナーに雨中の中、授与されました。

この日は、船橋市とのコラボにより、入場無料として、ふなばし産品ブランド協議会の物産や市内の名産品の出張販売を行いました。

この日は、船橋市とのコラボにより、入場無料として、ふなばし産品ブランド協議会の物産や市内の名産品の出張販売を行いました。



通年ナイターへ！

船橋競馬場は、3年前ナイター導入をいたしました。が、来年度からは、開催日56日すべてがナイターで開催されます。

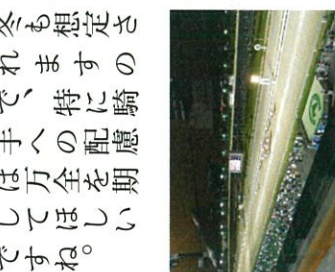
これまでも、大井・川崎競馬では、1月から3月までは、昼間開催でしたが、船橋だけは、3月開催もナイターで開催していました。

船橋競馬場の気候は、南からの海風により、比較的他の2場より気温が下がらないことから、通年ナイターに踏み切ったとのこと。

しかし、今年のように厳冬も想定されますので、特に騎手への配慮は万全を期してほしいですね。

船橋競馬場の気候は、南からの海風により、比較的他の2場より気温が下がらないことから、通年ナイターに踏み切ったとのこと。

船橋競馬場の気候は、南からの海風により、比較的他の2場より気温が下がらないことから、通年ナイターに踏み切ったとのこと。



おめでとうございます。NARグランプリ2017

これから勝ち星を積み上げてください。

2月27日(火) 目黒雅叙園で行われたNARグランプリ表彰式で、次の船橋関係者等が表彰されました。

【表彰馬の部門】 年度代表馬

ジャパンダートダービー(JPN I)を勝ち、古馬と初対戦となった浦和記念(JPN II)の2着など、1年を通して、高いレベルで結果を残したヒガシウイルウイン(牡3歳、船橋佐藤賢二厩舎)が選出されました。

なお、同馬は、「3歳最優秀牡馬」も併せて受賞しています。

「2歳最優秀牡馬」は、全日本2歳優駿(JPN I)で地方所属馬



最先着の3着に入り、ハイセイコー記念も制している、ハセノパイロ(船橋・佐藤賢二厩舎)が受賞。

【表彰者の部門】 殊勲調教師賞

ヒガシウイルウインでジャパンダートダービー(JPN I)を、キタサンミカツキで、東京盃(JPN II)を制するなどの活躍をした佐藤賢二調教師(船橋)。



「最優秀賞金取得騎手賞」は、7億5千万円余りの賞金を取得した、森泰斗騎手が3年連続3回目を受賞しました。

「殊勲騎手賞」には、新設されたヤングジョッキーズシリーズにおいて、JRAの騎手と戦い、見事初代王者に輝いた白井健太郎騎手(船橋)が受賞しました。

【表彰・調教師の部】

● 稲益貴弘調教師 通算100勝 選奨

平成29年9月5日第6回船橋競馬第4日第11レースにおいて、フミノインパルス号(的場文男騎手騎乗)で通算100勝を達成しました。

● 川島正一調教師 通算400勝 選奨

平成29年12月5日第9回船橋競馬第2日第11レースにおいて、クラージュドル号で通算400勝を達成しました。

● 松代真調教師 通算600勝 選奨

平成29年9月1日第6回船橋競馬第1日第1レースにおいて、管理馬ヤワタブランド号(中野省吾騎手騎乗)で通算600勝を達成しました。

平成4年4月23日船橋7Rランドホープ号で初出走。平成4年7月18日川崎5R、同じくランドホープ号で初勝利をあげています。

重賞勝ち6勝 主な重賞勝ち6勝 主な重賞勝ち6勝 スカイインテンス号で第26回東京湾カップ

(SⅢ)第62回平和賞(SⅢ)をスカイサーベル号で、勝っています。



● 矢野義幸調教師 通算800勝 選奨

平成30年1月15日第10回船橋競馬第1日第2レースにおいて、管理馬マントバーニ号(石崎駿騎手騎乗)で通算800勝を達成しました。

平成14年6月10日船橋6Rリツシヨウシンエイ号で初出走、平成4年7月18日川崎5R、ジエンツワールド号で初勝利をあげました。

重賞勝ち17勝。主な勝鞍は、ルースリンド号で第52回金杯、第45・46回東京記念を、サミットストーン号で第59回大井記念、第35回浦和記念を勝っています。

ストウテイウム号では、第60回平和賞、第47回ハイセイコー記念、第60回羽田盃、第28回ダービーグランプリを勝っています。



【表彰・騎手の部】 ● 江川伸幸騎手 通算300勝

平成29年度第12回川崎競馬第5日第10レースでキョウエイアドニス号(武井和美厩舎(川崎))に騎乗し、平成13年4月のデビューから3,743戦目で通算300勝を達成しました。

あわせて、2月9日9Rラストランお疲れ様でした。



● 白井健太郎騎手

2017YJJSファイナルラウンド総合優勝。

トライアルラウンドを勝ち上がった地方競馬およびJRAの代表騎手がシリーズチャンピオンの座を争う「2017ヤングジョッキーズファイナルラウンド」が、12月28日大井競馬場で、29日中山競馬場で行われ、船橋競馬所属の白井健太郎騎手が総合優勝を果たし、初代チャンピオンになりました。



会員の皆様へ(お知らせ)

住所・電話番号・見舞金等受取口座に変更が生じた時は速やかに事務局までご連絡ください。

三年間無事故馬表彰

当馬主会は、共済加入日より、3年間無事故馬(36月納付)に対しまして、特別表彰を実施しております。長年競走馬として無事出走させることがいかに難しく、管理調教師さん、厩務員さんのご努力に敬意を表する次第です。潤間力夫共済委員長より、次の馬主、調教師、厩務員の皆様に記念品が贈呈されました。



平成二十九年十月十八日

○ビートルライン号

馬主 安西競走馬(尙) 調教師 石井 勝男 厩務員 松田 年広

○マルヒロヒカリ号

馬主 廣川 直 調教師 玉井 勝 厩務員 玉井 翔

平成29年度新規入会者

- (9月〜2月月承認順)
- 26 堂守 貴志 山下厩舎
- 27 原 久美子 坂本厩舎
- 28 和氣 竜彦 佐々木清厩舎
- 29 和田 勉 山下厩舎
- 30 野口 弘司 渋谷厩舎
- 31 澤田 孝之 渡邊貴厩舎
- 32 大西 定 稲益厩舎
- 33 (同) ソーテリア
- 34 代藤本容子 椎名厩舎
- 35 多治見國壽 坂本厩舎
- 26 平田 修 佐藤裕厩舎
- 27 前田 敏文 齊藤厩舎
- 28 月舘 範行 齊藤厩舎
- 29 関田 光男 佐藤裕厩舎
- 30 代木村 貢 伊藤厩舎
- 31 小林 祐介 新井厩舎
- 32 代谷山 陽 山下厩舎
- 33 代谷山 弘明 坂本厩舎
- 34 サンエツ企画(尙) 石井厩舎
- 35 代加藤ステイブル 岡林厩舎
- 市村 義和 山下厩舎 (敬称略)

○フラットライナーズ号

馬主 (尙)太盛 調教師 林 正人 厩務員 真保 一

○パレトドライブ号

馬主 (尙)下河邊トレー ニングセンター 調教師 松代 真 厩務員 西尾 進

○エスシーカレント号

馬主 工藤 圭司 調教師 渡邊 貴光 厩務員 古瀬 満広

○アイドリィムド号

馬主 内藤 好江 調教師 石井 勝男 厩務員 島田 壺司

○アサヤ号

馬主 橋本 慎太郎 調教師 石井 勝男 厩務員 今村 孝彰

○シグロネオーロ号

馬主 吉田 正志 調教師 川島 正一 厩務員 飯田 稔



平成三十年一月十日

○ヤワタブランド号

馬主 平岩 健一 調教師 松代 真 厩務員 和氣 雅幸

○ピアーノ号

馬主 尾又 良隆 調教師 伊藤 滋規 厩務員 家入 悠輔

○サチノマリアーシユ号

馬主 佐藤 勝士 調教師 矢野 義幸 厩務員 小林 照男

○ゴールドレイズ号

馬主 水澤 功 調教師 山浦 武 厩務員 赤松 淳



編集後記

今年度の船橋競馬場の総売得金は、あと1開催を残していますが、過去最高だった平成2年を大きく上回るのは確実のようです。

理由として、ナイターとネット投票のおかげであるのは間違いないところですが、このまま何も思っ

てもいいとは思いますが、強い馬づくりをして、魅力的なレースを展開する。競馬場自体をエンターテイメント化し、あらゆる世代のファンに臨場感あふれるレースを提供する。

この二つを実行するために、施設面を思いきり改修できるのも、今でしょ!